

概要

- 県産農林水産物を活用した付加価値の高い商品・サービスづくりに向け、事業計画から生産、製造・加工、流通・販売までの全体を見据えた6次産業化の促進と基盤づくり

予算額(当初):72,345千円

事業期間:平成29年度～令和2年度

背景/課題

○農林水産業の生産の維持・拡大と食品製造業の発展のためには、価格競争に左右されない高付加価値な商品を継続的に創出する取組みを促進し、支援する体制(基盤)が必要

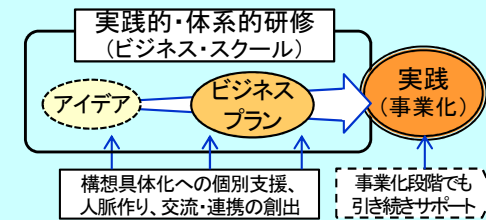
- 1 経営感覚と企業的視野を持ち、持続的・発展的に事業に取り組める担い手の育成及びネットワーク形成の促進
- 2 事業計画から農林水産物生産、商品企画、販売・サービス提供等の各段階に積極的に関与するなど、6次産業化を推進する支援機能の充実
- 3 県産農林水産物のブランド力を活用し、戦略的な販路開拓・拡大の推進

事業内容

1 6次産業化を担う人材の育成

産学官金の連携・協力による人材育成の展開

- 行政、教育機関、農業・食品等の関係団体、金融機関等による連携・協力のもと、実践重視のカリキュラムによる体系的研修の実施(ビジネス・スクール)
- 事業構想の具体化に向けた支援機関・専門家等による個別支援、研修受講者や県内6次産業化実践者等のネットワーク形成など、フォローアップの充実



2 6次産業化の支援機能の充実

食産業関連情報の資源化と活用によるマッチングの強化など支援機能の充実

- 外部専門家も活用した事業計画策定や経営課題解決、商品開発等への助言・指導の充実
- 食に関連する多様な情報の収集とデータベース構築により、交流の場づくり、取引条件の調整等を含めた事業者間のマッチングを強化し、良好な取引・連携関係の構築を促進
- 消費者ニーズや実需者の動向等を県内の農林漁業者(産地)や食品製造業者に提供し、需要に応じた商品開発を促進

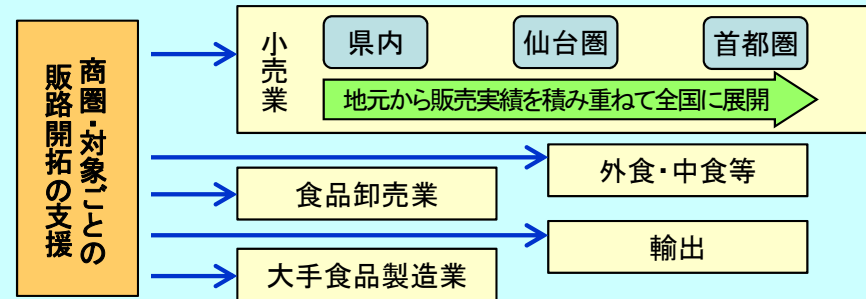


山形6次産業化サポートセンター、やまがた食産業クラスター協議会を中心とした「伴走型コーディネート」の実施

3 戦略的な販路開拓の推進

6次産業開拓推進員の配置とターゲット別の販路開拓支援

- 食品製造・流通に関する専門知識・人脈を持つ人材を活用し、消費者ニーズや市場・業界トレンド等の情報収集、首都圏等の食品製造業、流通業、飲食業等とのマッチング等を展開
- ターゲットと取組方針を設定し、戦略的な販路開拓・拡大を支援
- 大手食品卸売業等と連携を図りつつ、首都圏等への販路開拓の足掛かりとなる地元での販売実績づくりを支援



事業目標

・県内食品製造業等における県産農林水産物使用割合(重量ベース) H30:40.5% ⇒ R2:43.0%

問い合わせ先

- 担当課:6次産業推進課
6次産業推進担当、食産業戦略担当
- 電話:023-630-3031、2465